

会 議 録

会議の名称	第8回 戸田市自治基本条例推進委員会
開催日時	令和6年1月16日(火) 午後7時00分～午後8時10分
開催場所	戸田市文化会館 5階多目的ルームA
委員氏名	◎ <input type="checkbox"/> 横山 誠 ○ <input type="checkbox"/> 岩本 恭幸 <input type="checkbox"/> 木本 篤史 <input type="checkbox"/> 芳賀 良 <input type="checkbox"/> 細井 翔太 <input type="checkbox"/> 宮澤 正 <input type="checkbox"/> 小野塚 加代 <input type="checkbox"/> 宮澤 浩二 <input type="checkbox"/> 浅生 和英 <input type="checkbox"/> 古屋 としみつ <input type="checkbox"/> 牧野 秀平 ■ 長尾 愛子 <input type="checkbox"/> 松下 啓一 (◎委員長 ○副委員長) (<input type="checkbox"/> 出席 ■欠席)
説明のために出席した者等	
事務局他	市民生活部協働推進課 峰岸課長、江口副主幹、秋山主任
議 題	(1) 答申について (2) ハンドベル体験 (3) 今期の委員会の振り返り (4) その他
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会 委員の紹介</p> <p>2 挨拶 横山委員長あいさつ</p> <p>3 議題</p>
委員長	<p>議題(1) 答申について</p> <p>本日は今期の委員会の答申を最終的に決定する必要がある。 前回の委員会で答申案1が議決され、その修正案を5名の委員からいただき、その内容を加味して最終案を提示するため、調整した。しかし、答申に対する考え方の違いなどから1つにまとめることが困難と判断した。本日は資料1と資料2のどちらにするか皆さんに諮りたい。</p> <p>資料1において「当委員会の取り組み」の記載を追加した。 まず、資料1について、事務局から補足説明があればお願いします。</p>
事務局	<p>資料1は、前回の委員会で議決された答申案1について、5名の委員の修正案を反映したものである。委員会資料の1ページから4ページにおいて、修正案と反映結果を記載している。</p>
委員長	<p>資料2について副委員長から補足説明があればお願いしたい。</p>
副委員長	<p>「〇〇はこうあるべき」というあるべき論を述べる資料1に対し、市長がすべきことを提案したものが資料2である。誰に何が言いたいのかをはっきりさせるために資料2を提出した。</p> <p>資料2の「市長への提案」はあくまでも市長に対して「こうしたら市民活動の活性化につながるのではないか」という「提案」であり、「要望」や「市長にやってもらうこと」ではない。アドバイスであり、市長が判断できる程度の具体性を有した内容とした。</p> <p>戸田市自治基本条例の逐条解説では、「市長は、委員会からの答申</p>

	<p>を尊重すべき」とあるため、答申を採用しない場合はその理由について説明責任（政治的責任）が生じることとなる。そのため、委員会がきちんと「市長へ提案」を実践することが「提案型の諮問機関」の実践である。</p> <p>また、次期委員会がすることは次期委員が決めることであり、答申を委員会の決意表明と考える資料１は、「今期の委員が何をしていたのか」ということになり、無責任である。今期の委員からの検討課題として挙げる程度が適切だと考える。</p> <p>この委員会は市政に役立つ機関であるべきで、市長への提案を実践するという第一歩を踏み出すというのが趣旨である。</p>
委員長	<p>それでは、資料１と資料２についてご意見があれば伺いたい。</p>
委員	<p>今期の第３回委員会で、「推進委員会にかかっている費用に対し、その効果が見合っていない」という意見があった。確かに、他市町村は条例見直しをする程度で、委員会も年１回くらいが多く、形骸化している。しかし、戸田市は他と違うため、ここで私たちが変わる機会としたいと思っている。そのため資料１の「（４）自治基本条例推進委員会の取り組み」がこの答申のメインであり、（１）～（３）はその背景と考えている。推進委員会が自ら３Ｃ（チャンス、チャレンジ、チェンジ）を実践していくことを表明するのが答申ではないか。自分たちで行うことを全面に出していくべきだと思う。</p>
委員	<p>推進委員会は今期で第四期となるが、第三期までの答申を見ても堂々巡りで成果物がない。そのため、（４）を入れて手がかりを残すことに賛成である。また、具体的な内容が入った資料２のほうが、委員会の成果物という形になると思う。ただ、表現はもう少し整えるべき部分がある。</p>
委員	<p>資料２のほうが具体的な内容もあり、今まで委員会で実施してきたことが反映されているように感じる。</p>
委員	<p>今日、ここでどちらか選ばないといけないのか。資料１は、今まさに議会が動き出していることも多く含んでおり、とても現実的だと感じている。</p>

委員長	今日、資料1か資料2か決めなければならない。
委員	どちらかをここで選ぶのは難しい。前回の委員会で2案から答申案を選んだ経緯を踏まえると、本来は今日、修正された最終案を審議すべきだったのではないか。
委員長	最終案が1つの案となるよう調整したが、難しいため、私の判断でこの場でどちらか多数決で決めることとした。
委員	資料1を答申として提出した場合、市長から何がフィードバックされるのか。
委員	資料1は、市長にしてもらおうことを書いた答申ではない。市長にしてもらいたいことを伝える手段は、答申以外でいくらかでもある。
委員長	例えばあいパルの出入口付近に、ご意見箱がある。また、市のホームページでも、市長に意見書を出せる機会が担保されている。 資料1の主旨は、推進委員会が行うことについて、市長に知らん顔されないようにするものである。
委員	資料1も資料2も今まで議論した内容が反映されており、選ぶのは難しい。
委員長	他にご意見がなければ多数決を取りたい。今回は、挙手ではなく無記名投票で行いたい。今から投票用紙を配布するので、速やかに投票箱に投函してほしい。 (委員12名が投票用紙を記載し、投票箱に投函) (委員長と副委員長にて開票し、結果をホワイトボードに記載)
委員長	開票の結果、資料1が6票、資料2が6票で同数となった。そのため、戸田市自治基本条例推進委員会条例第6条第3項に基づき、議長である私が決めることとし、資料1を今期の答申としたい。 実際に答申式で、委員長と副委員長が直接市長と対話する中で資料2についても伝えられればと思う。

委員	答申の関連資料として資料2も含めて、答申式で市長に伝えれば良いのではないか。
事務局	会議の内容は会議録にて記載することとなる。
委員長	答申について、最後に何かあれば伺いたい。
副委員長	皆さんに残念な報告をしたい。 私が当初、資料2の作成経緯について説明する資料一式を事務局にメールで提出した際、内容に問題があるため委員には配れないと回答された。これは憲法違反となる検閲行為にあたる重大なインシデントであり、行政による隠蔽行為であると同時に行政組織としての暴挙でもある。しかしながら、結果的に委員全員にメール送信されたため、未遂という形になったが、委員会で報告したい。また、このことについての対応を事務局に伺いたい。
事務局	1月5日付で副委員長からメール送信された「答申案」「今回審議に至る経緯」「論点整理表」「対案の提案趣旨」に対しての事務局の対応について回答する。答申作成については、委員会の議論のまとめとして前回の委員会で皆さんに提示している。あくまでも委員会での議論を文章化したものであり、事務局が意思を持って作成したものではない。 副委員長からの資料一式について、委員会当日に口頭で説明いただくか、事前に委員全員にメール送信するか、委員長へ相談することとしていたが、意思疎通がうまくいかず、その前に先に副委員長へメール返信してしまった。その後、1月9日に委員長と相談し、委員全員にメール送信することとなった。
委員	色々な人がいて、色々な意見が出る中で事務局がちょっと冷静さを欠いただけだと思う。委員長とよく相談して気を付けてもらえれば良いと思う。事務局は萎縮してもらっても困る。
副委員長	悪意があるとは思っていない。ただ、情報を隠すことを当たり前と 思っほしくない。教訓にしてほしい。

委員長	<p>ちょうど年末年始も挟んだ中での出来事だった。話し合えば解決の道が開かれると思った。次期委員会も続いていくので、今後もよろしくお願ひしたい。</p>
委員長	<p>続いて、(2) ハンドベル体験としたいが、時間の都合上、委員会終了後に行うこととし、(3) 今期の委員会の振り返りに移りたい。 委員の皆さんの言葉で第四期の委員会を振り返っていただきたい。</p>
委員	<p>大人の立場からの意見や議論に参加出来てとても参考になった。皆さんとは世代も違う中で、少しでも還元できたのであれば、良かった。</p>
委員	<p>会議の中で市民・議会・行政について役割を認識することで、戸田市の一員であることを感じられた気がしている。しかし、成果は上げられなかった気がするので、次回また参加できる時は何が出来るか考えたい。</p>
委員	<p>任期途中での参加となり、お役に立てたか疑問だが、自分の良い経験となったと感じている。</p>
委員	<p>自分が様々な地域活動を行う中で、皆さんの意見が参考となり、とても有意義だった。</p>
委員	<p>行政職員として、今後の業務で市の計画作成などに携わることになった際に、この経験を参考にしていきたい。</p>
委員	<p>この会議に参加するのは、間を挟んで3年目となったが、メンバーが変わると全く雰囲気も異なり、今期は前向きで活発な意見交換があったとても有意義だった。戸田市はポテンシャルが高いと思っているので、これからも周りにも訴えていきたいと思っている。</p>
委員	<p>地域コミュニケーションが希薄化している中、委員会での議論で役立ちそうな話も沢山あってこれから生かしていきたいと思った。</p>
委員	<p>答申で、この委員会の方向性のヒントが示せたのは良かった。それで進歩していければと思う。ただ、人数が多くて議論をまとめていくのは難しいと感じた。そもそも答申は本当に必要なのか疑問に思う。</p>

	<p>啓発活動に参加し、この委員会は啓発活動を主体として、実施していくことに特化としていく方が良いのではと感じた。その場合は条例改正も必要と思われる。</p>
委員	<p>これまでの委員会と違って皆さんと色々な話が出来て良かった。改めて多くの色々な活動を出来たことがとても良かったと思う。</p>
副委員長	<p>委員長、事務局、松下委員と、毎回委員会前に打ち合わせをしていたが、条例にある「協議の原則」にまで到達していなかったように感じている。その結果、委員会もまとまりがつかない部分があった。副委員長として反省する。</p>
委員長	<p>議長という立場で、委員会の進行を行う上で、色々と違和感などあったかもしれないが、皆さんと近づけたことが私の宝であり、成果である。今後もどこかで皆さまと関われば嬉しく思う。</p>
委員長	<p>続いて（４）その他について、報告などある方がいればお話しいただきたい。</p>
委員	<p>この後ハンドベル体験を行うが、その前に、ボランティアに興味がある方に配布している戸田市ボランティア・市民活動センターのリーフレットの中の質問シートについて説明したい。</p> <p>ボランティアに興味があっても何が自分に向いているか分からない人のために、質問に答えるとおすすめの活動分野が簡単に分かるシートを今回作成したため、配布した。是非皆さんにも試していただき、ご意見を伺いたい。</p>
委員長	<p>私から１つ話したい。今まで４回の Zoom 研究会を実施したが、２月か３月にもう一度実施できればと考えている。その際は是非積極的にご参加いただきたい。</p>
事務局	<p>事務局から１点連絡がある。３月に予定していた啓発活動は、前回の啓発活動で配布部数や目的は達成されたため、実施はしないこととしたい。</p>
委員長	<p>（４）その他について、ご質問などはあるか。</p>

委員	(特になし)
事務局	<p>4 事務連絡</p> <p>答申式は2月9日9時予定、委員長、副委員長の出席をお願いしたい。また、次期委員会の市民委員の公募は2月1日から2月19日を予定している。</p> <p>5 閉会</p>
委員	<p>(ハンドベル体験の実施)</p> <p>小野塚委員の指導により、ハンドベルによる協働体験を実施。</p>